

研究課題名	要支援高齢者の要介護認定から8年間の機能低下の推移と医療の利用に関する研究
研究の意義・目的	要支援高齢者の要介護認定から8年間ならびに死亡に至るまでの機能低下の推移と医療の利用状況を明らかにし、死亡や機能低下に関連する要因を調べます。研究成果により、要支援高齢者の長期的な経過を明確にでき、新たな介護予防のあり方を提言します。
研究期間	倫理委員会承認後～2026年3月31日
研究対象者の範囲	2012年度に新規に要支援認定された第1号被保険者
利用する情報	要介護認定情報、介護給付ならびに診療報酬に関するデータ
研究機関の情報	<p>【研究機関ならびに実施体制】 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野 河野あゆみ、三浦剛</p> <p>大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター 山本陵平、大槻奈緒子</p> <p>【協力機関】 和泉市、泉大津市、岬町 大阪府後期高齢者広域医療連合 大阪府国民健康保険団体連合会</p>
研究成果を公表する方法	研究成果については、学会等にて発表します。
情報の提供方法	個人を識別できないように匿名化した情報を提供します。 個人を識別できないように分析は統計的処理を行います。
情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	公立大学法人 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野 教授 河野あゆみ